

報道関係者各位

【コロナ禍での緊急避妊薬のアクセス改善を】要望書・署名提出 および 記者会見のご案内**10代の妊娠不安相談が急増する中、緊急避妊薬を薬局で入手できるよう選択肢を広げて****市民活動団体から厚生労働大臣へ 要望書・署名提出**

【日時】 2020年7月21日（火） 15時45分～

厚生労働大臣政務官への要望書・署名提出（15時30分 集合）厚生労働省

17時30分～ 記者会見：厚生労働省 会見室

女性が健康を守るために、安心して、適切かつ安全に、緊急避妊薬にアクセスできる社会の実現を目指す「緊急避妊薬の薬局での入手を実現する市民プロジェクト（通称：緊急避妊薬を薬局でプロジェクト）」では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が懸念される中、緊急避妊薬のアクセス改善を求める要望書及び約6万6千筆の署名を7月21日（火）に厚生労働大臣に提出し、同日記者会見を行います。

新型コロナウイルス感染症対策に伴う外出自粛の影響で女性や子どもに対する暴力が世界的に急増しており、日本では特に若年層における意図しない妊娠に関する相談の増加が報道されています。避妊や家族計画は女性の健康管理に不可欠で、どんな状況においても重要であり、意図しない妊娠を防ぐことは児童虐待死の減少につながります。WHO（世界保健機関）は、新型コロナウイルス感染症対策において「OTC化の検討を含め緊急避妊へのアクセスを確実にすること」を世界各国に提言しています。私たちは、新型コロナウイルス感染症の影響で先行きの見えない不安が続く中、早急な対策を求め、20を超える市民活動団体による要望書及び署名を提出します。

【厚生労働大臣への要望】

1. 緊急避妊薬が適切かつ安全に使用される環境づくりを推進すること
2. 緊急避妊薬の対面診療およびオンライン診療の提供体制を整備、強化、周知すること
3. 緊急避妊薬のスイッチOTC化に関する審議を早急に再開し市民の声を反映すること
4. 緊急避妊薬を薬局で薬剤師の関与のもと処方箋の必要なく購入できるようにすること

【概要】（予定）日時：2020年7月21日（火）

1. **厚生労働大臣への要望書提出** 15:30 厚生労働省 集合（1階ロビー）
15:45～ 厚生労働大臣宛の要望書・署名提出（冒頭部分のみ/厚生労働省政務官室）
●自己紹介及び要望書説明 ●要望書・署名手渡し（受取り：厚生労働大臣政務官）
2. **記者会見** 17:30～ 厚生労働省 会見室にて
●プロジェクトの紹介 ●要望書の説明、内容の背景等
●厚生労働大臣への要望書提出について ●プロジェクトの今後の予定

【アフターピル（緊急避妊薬）を必要とするすべての女性に届けたい！署名キャンペーン】 <https://www.change.org/afterpill>

賛同者数 6万6千人超！（2020年7月現在）

私たちの要望（一部抜粋）：

○緊急避妊薬をOTC化してください。また、諸外国との価格差を無くしてください。

○文部科学省と連携し、ピルや避妊についてしっかりした知識をつける性教育を充実させてください。義務教育である中学校までの教育で取り上げるべきです。

【お願い】活字媒体の公開にあたりましては、お手数ですが、当プロジェクトに内容確認をお願いいたします。

【取材お問い合わせ先】 緊急避妊薬の薬局での入手を実現する市民プロジェクト/NPO法人ピルコン担当：染矢明日香 **E-mail : info@kinkyuhinin.jp** <https://kinkyuhinin.jp/>